

災害への備え



いざというときに自分自身や大切な人を守るのは、たったひとつの対策、たったひとつの知識、たったひとつの道具かもしれません。

小さな備えが、大きな助けになります。大災害が起きてから後悔しないように、日頃から災害に備えておくことが大切です。

～こんなことにならないように～

地震発生時、あなたは自宅内の自室で寝ていました。
突然大きな揺れが起きて気が付くと…。



出典：神戸市 阪神・淡路大震災「1. 17の記録」

「暗い…狭い…痛い…」

家具が転倒し、足を挟まれてしまったようで、全く身動きが取れない…。
他の部屋にいるはずの家族に呼びかけても何の反応もない。もしかしたら意識を失い倒れているんじゃないか。

こんなことなら、普段から地震の備えをしっかりとっておけばよかった…。

被害を軽減するポイント

災害が発生してからでは遅い 日頃の備えが大切！

災害とのたたかいは、災害が実際に起こる前から始まっています。

いざというときに、「助けられるのを待つ側」になるか、自らの安全を確保して「助ける側」になるのか、日頃の備え次第で状況が変わります。

災害発生時に、「助ける側」の人数をより多くすることで、被害を最小限に食い止めることができます。

自主防災組織に期待される役割

- 地域のイベントや防災訓練、**広報誌**などを通じて、地域住民に災害への備えの大切さを啓蒙しましょう！

西宮市のホームページもご活用ください！

地域住民への防災啓発にご利用いただける、広報用チラシなどを市のホームページで公開しています。

そのままお使いいただくか、地域版にアレンジするなどご活用ください。

【データの提供等については 地域防災支援課Tel0798-35-3092 まで】



広報用チラシ集



にしのみや防災チャンネル

